

飯山市豪雪災害対応概況

平成 18 年 2 月 28 日現在 飯山市豪雪災害対策本部

大雪に対する体制と経過	・平成 17 年 12 月 15 日 警戒の態勢（警戒 1 次体制） ・平成 17 年 12 月 26 日午前 8 時 30 分 豪雪警戒本部設置（警戒 2 次体制） ・平成 17 年 12 月 27 日午前 1 時 豪雪災害対策本部設置（非常 1 次体制） ・平成 18 年 1 月 6 日午後 2 時 50 分 長野県へ自衛隊の派遣を要請 ・平成 18 年 1 月 6 日午後 11 時 09 分 長野県が自衛隊へ派遣を要請 ・平成 18 年 1 月 7 日午前 8 時 自衛隊が除排雪作業を開始 ・平成 18 年 1 月 7 日午後 4 時 災害救助法適用 ・平成 18 年 1 月 12 日午前 10 時 災害時要援護者世帯等の緊急危険排除作業完了のため自衛隊撤収 ・平成 18 年 1 月 17 日午後 4 時 災害救助法適用延長 ・平成 18 年 1 月 26 日午後 4 時 災害救助法適用終了 ・平成 18 年 2 月 28 日午前 8 時 40 分 豪雪災害対策本部廃止	
市道除雪活動状況 (路線 1118/1556) (延長 334/744km)	・除雪活動日数（12 月 11 日～ 2 月 28 日）50 日間 重機、オペレーターもフル稼働 特にオペレーターが不足 ・除雪に稼働した重機及び人員（延べ） ドーザー 2262 台、ロータリー 1211 台、ダンプ 570 台、職員 3226 名 ・要した費用 約 4.9 億円（委託料借上料等）	
除雪体制・状況	（市道除雪費決算見込み約 6 億 5 千万円、弱者世帯及び公共施設除雪 9 千万円、計 7 億 4 千万円） ・市道の状況…幹線道路はほぼ実施済みだが、1 車線確保限度多数。枝線は手が回らず未実施の状況が継続 ・通勤時間渋滞により、救急車・消防車等緊急車両通行不能の状況が市内各所に、特に市街地に顕著 ・住宅から市道までの通路…個人対応（災害時要支援者は市外子息や地区及び近所対応） ・公共施設周辺の状況…公共施設の雪下ろし除排雪は職員等で実施。	
雪害救助員の状況	・雪害救助員登録者数 160 名 ・単価 11,000 円（日） ・対象世帯数 325 世帯(生活保護 12、老人 287、母子 8、障害 18) ※この他独り暮らし老人、高齢者世帯等 1051 世帯	・災害救助法関係実施世帯数 293 世帯 ・委託料等 16,836,775 円 ・事務費 1,556,207 円
	・全世帯に救助員（の一部、自衛隊、市外子息、近所、市職員等）を派遣し緊急状態は回避 ・特に救助員が不足、また個人が建設会社等へ除雪依頼しても順番待ち状態が続いた	
災害時要援護者の支援状況	・雪害救助員 12/10 ～ 1/18（35 日間）約 1000 人 ・自衛隊、市職員、消防署員、ボランティアによる除排雪作業 1/7 ～ 1/16（10 日間）1242 人	
被害状況	・人的被害 52 件{死亡 3 件 負傷 49 名(屋根雪落下、除雪中の被害)} (3 月 17 日現在) ・建物被害 72 件{住宅 25 棟(全壊 6、一部損壊 19)、車庫物置等 38 棟(全壊 13、半壊 5、一部損壊 20) ・店舗事務所 3 棟(一部損壊 3)、公共施設 6 棟(全壊 1 棟、一部損壊 5 棟)} : その他 9 件 (3 月 17 日現在) ・災害弔慰金 死亡 3 件 ・災害障害見舞金 現在対象なし ・災害援護資金 1 件(予定) ・災害見舞金(県単事業：人的被害) 本人へ書類交付 41 件(うち申請県へ進達 35 件) (3 月 16 日現在) ・災害見舞金(県単事業：住家被害) 本人へ書類交付 3 件(うち申請県へ進達 3 件) (")	
	・停電 12/13 照里周辺 170 戸 12/13、14 一山周辺 200 戸 12/20 瑞穂周辺 10 戸 1/1 小菅周辺 100 戸 1/5 常盤周辺 170 戸 1/8 常盤・寿周辺 120 戸 1/14 南町周辺 210 戸 1/27 関沢周辺 40 戸	
避難状況	・自主避難世帯数 最多で 10 世帯 17 人（道路除雪 5 世帯 12 人、住宅雪下ろし 5 世帯 5 人） 3/17 現在自主避難数 5 世帯 11 人（道路除雪 4 世帯 10 人、住宅雪下ろし 1 世帯 1 人）	
自衛隊の活動状況 (緊急危険排除作業)	・1/7 ～ 1/11（5 日間） 作業人員延べ 430 名 （連絡調整・後方支援隊を含め 603 名） ・市営住宅 12 棟、災害時要援護者世帯の民家 14 戸の除排雪作業（緊急危険排除世帯数の合計 62 世帯） ・道路除排雪 L=約 700m	
警察の活動状況	・除排雪作業等の交通誘導 延べ 103 名	
消防署の活動状況	・当直者 10 名が緊急災害出動に備え待機 ・1/11 ～ 13 署員延べ 12 名が災害時要援護者世帯の雪下ろし	
県及び県職員の活動状況	・1/11 ～ 1/20 国、県道除雪車両とオペレーターが市道を除雪（誘導：市職員） - ロータリー 2 台、ダンプ 3 台（20 日までに 18.6km を実施） ・1/10 ～ 1/13 延べ 16 名が市職員 16 名とともに交差点視界確保、歩車道間雪壁除去作業	
市職員の活動状況	・1/5 ～ 1/13 市職員延べ 300 人で災害時要援護者の現地確認や個別ケースワークを進め援護活動を行う ・1/8 ～ 1/13 延べ 90 名が災害時要援護者世帯の雪下ろし ・12/27 ～ 1/20 延べ 1009 名が交差点視界確保、歩車道間雪壁除去、除排雪誘導、公共施設雪下ろし等作業 ・本部員 29 名で災害時要援護者世帯を含む市内の状況調査を引き続き実施	
ボランティアの活動状況	・1/7 ～ 1/16 延べ 716 名が災害時要援護者世帯 145 件の家屋周辺の除雪 ・その他 74 名が交差点視界確保、標識、信号操作盤周辺の除雪、福祉施設の雪下ろし作業（住宅雪下ろしは技術的に危険が伴い難しい）	
地域の活動状況	・災害時要援護者の状況把握のため、区長、民生委員により緊急調査を 2 回実施 ・地域内の落雪危険箇所の把握と現地を告知表示 ・区役員による雪下ろし作業	
その他特記事項	・長野市以北に子息が居る場合は雪害救助員対象世帯から除外している ・雪下ろしを依頼しようにも、雪害救助員は近所の一住民であり、自宅の雪下ろしもあるためなかなか進まない ・降ろした雪を運搬しないと次の雪下ろしができず、ロータリー車も稼働できない ・通学路について、地区 PTA、字町会長に通学路の危険箇所の把握と児童誘導を依頼した ・除雪、雪庇除去は教員、市職員 80 名体制で実施 ・消防団による通学路の雪庇除去作業	